

## 反応

来場者の反応は、前述したように大変喜んで下さったことに満足しています。詳細はアンケート報告に譲りますが、皆さんを迎え入れる雰囲気がとてもよかったとうれしく思っています。出演された皆さまの演奏力の向上（演奏に対する熱意・日々の取り組み）、そしてバラエティーに富んだプログラムの構成によるものです。賛助出演の「コールメイツとしとらーず」100名が集客そしてファミリーさで会場を包み、盛り上げてくれたこともうれしいことです。

## 打上懇親会

終演後、会場をホテルに移した懇親会も盛り上がり楽しい会になりました。しかし、当初は参加者が少なく、岡村理事長に督促をお願いしたほどでした。当日は、来賓を含め146名の大パーティとなり、和やかに楽しく交流できたことに感謝申し上げます。

次回も2年に一度のこの会、演奏してすぐ帰らず、万難を排してせめて一泊、できれば観光もして安全に帰っていただけたらと思います。



上：宇都宮シルバーアンサンブル  
右：コールメイツとしとらーず  
下：合同フィナーレ

## 終わりに

これだけ大きな全国大会を1日でステージリハから演奏会まで消化するのは難しいと実感しております。加盟団体を増やせば当然この大会の参加増は必然。この対応を次回に向けてすぐにでも行う必要があると思います。

方策の一つとして、合唱や吹奏楽連盟等で行われている実施方法を参考に提案します。それは終日（日数を増やすことも）使って演奏し、客も出演者も聞きたいところだけ聞いて帰る（現実には表彰式までほとんど参加して聞いています）という方法です。近い将来に当面する課題として検討して行く必要があります。

また、ホスト楽団を馴れない運営に苦労させるのではなく、高校球児の聖地（甲子園）のように、連盟の主力である東京や千葉に会場を特定し、演奏会場と共催で開催する方法はとれないでしょうか。本連盟の趣旨に賛同し受け入れる会館があるはずですが、会場の優先確保だけでも有効、費用の節減等メリットもあるはずです。この特定方式で毎年開催できれば連盟の発展は間違いないと思います。大きな会場はいりませんが、安心して実施でき、参加できる対応策の一つとして「シニアアンサンブルの聖地」確保に連盟として取り組むことをご期待申し上げ、実施報告とさせていただきます。

